

市民一人が納める税金の内訳



市民税 61,792円



固定資産税 62,131円



都市計画税 10,518円



軽自動車税 1,807円



たばこ税 5,770円



入湯税など 40円

合計 142,058円

活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり

県営農地集積加速化基盤整備事業	118万7千円	緊急経済対策住宅リフォーム促進事業	2,004万5千円
新海地区大区画ほ場整備		井伊直弼と開国150年祭事業	1億2,638万6千円
企業誘致促進事業	105万7千円	彦根駅東土地区画整理事業	5億2,874万3千円
中小小売商業対策事業	2,701万3千円	彦根駅東土地区画整理関連事業	
経済対策事業(プレミアム付商品券)		公共交通活性化実証事業	1億1,203万5千円
金融対策事業	1億5,330万7千円		
セーフティネット保証料補給金			

明日の彦根市を担う人を育(はぐく)むまちづくり

高宮小学校校舎増築事業	1,000万円	生涯学習推進事業	536万1千円
中学校校舎等整備事業	1,857万6千円	体験型ロボット教室など	
特別支援教育支援員配置事業	2,536万6千円	地域子ども教室推進事業	70万円
博物館企画展開催事業	1,530万7千円		

人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり

世界遺産登録推進事業	153万円	伝統的建造物群保存対策事業	300万円
歴史まちづくり事業	7,656万1千円	市民活動促進事業	252万4千円
旧彦根藩松原下屋敷庭園保存推進事業	5億6,451万2千円	市民活動団体が行う社会貢献活動に対する補助	

その他

ふるさと雇用再生特別基金事業	3,926万3千円	緊急雇用創出事業	7,330万4千円
ふるさと彦根応援寄附事業	185万2千円	定住自立圏構想推進事業	67万7千円

「市民一人に使うお金の内訳」と「市民一人が納める税金の内訳」の算出において、彦根市の人口は、111,757人(平成21年3月1日現在)で計算しています。

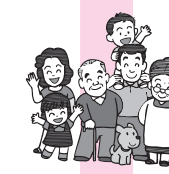
ふるさと納税の使い道について

皆さんから平成20年度にいただきました「思い」のこもった寄附金は、次の事業の財源として充てさせていただきますので、お知らせします。

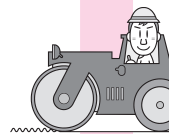
- ▼ふるさとの誇り保存整備事業
特別史跡「彦根城跡」保存整備事業へ40万7千円
 - ▼ふるさとの学び舎整備事業
中学校各所整備改修事業へ10万6千円
 - ▼ふるさと彦根への思いやり福祉事業
宅老所整備運営事業へ6万8千円
 - ▼ふるさと彦根国際交流事業
彦根市国際協会委託事業へ1万円
 - ▼みんなのひこにゃん応援事業
井伊直弼と開国150年祭事業へ152万1千円
 - ▼ふるさと彦根まちづくり事業
井伊直弼と開国150年祭事業、環境基本計画推進事業、鳥居本公園整備事業の3事業へ計40万8千円
- ※金額は、平成21年度当初予算で繰入金として計上した額です。

たくさんのお金をいただき、ありがとうございました。皆さんの「思い」は今後の彦根のまちづくりにいかしてまいります。今後も引き続き「ふるさと納税」をよろしく願います。

市民一人に使うお金の内訳



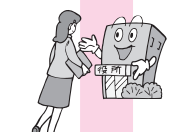
安心なまちづくりに 82,774円



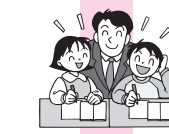
良好な環境整備に 46,131円



借金の返済や利息の支払いに 41,388円



市税、戸籍、選挙などの事務費に 40,581円



明日の彦根を担う人づくりなどに 38,393円



快適なまちづくりに 38,253円

新規・主要事業とその予算額の概要

平成21年度の予算編成にあたっては、彦根市総合発展計画の5つの柱にもとづき、特に「次世代育成支援対策事業」、「安全・安心なまちづくり関連事業」、「歴史まちづくり法関連事業」の3つの事業に重点化した予算を編成しました。

「次世代育成支援対策事業」では、妊婦の健康保持と経済負担軽減のため、妊婦健康診査の受診補助を拡大するほか、特定不妊治療を受診することによる経済的負担を軽減するための助成を行います。

次に、「安全・安心なまちづくり関連事業」では、新型インフルエンザへの対策を進めるため、庁内体制の整備や市民の皆さんに啓発を進めます。さらに、耐震診断の結果を踏まえ、中学校で校舎などの補強・改築の実施設計を行います。

そして、「歴史まちづくり法関連事業」では、彦根城下町固有のまちづくりを進めるため、善利組足軽組屋敷辻番所の保存整備などを行います。

さらに、緊急経済対策として、中小企業が国・県の制度などを利用して金融機関から融資を受ける際に必要な保証料の一部への助成や住宅リフォームやプレミアム付き商品券に対する助成を行います。また、にぎわいあふれるまちづくりを目指して、「井伊直弼と開国150年祭事業」を開催するほか、予約型乗合タクシーの実証運行を含めた公共交通活性化実証事業を展開します。

今後、本市の財政状況はさらに厳しくなると予想されますが、「選択と集中」を徹底して事業を推進し、「この世界的な経済危機の難局を乗り越え、新たなまちづくりを目指してまいります。」

人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり

福祉医療費助成事業	6億2,299万2千円	妊婦健康診査事業	5,052万8千円
乳幼児の自己負担の無料化など		妊婦健康診査受診券補助の拡充	
次世代育成支援行動計画策定事業	323万7千円	予防接種事業	1億3,395万円
障害者社会的事業所等支援事業	251万2千円	後期高齢者医療広域連合納付金	8億8,515万8千円
障害者施設整備事業	6,805万2千円	病院管理運営	3億6,442万6千円
重度障害者通所施設整備に対する補助		医師・看護師・助産師確保対策事業	
旧金亀荘改修事業	3,670万円	医療機器等整備事業：CT64列の新規導入	
改修後は指定障害福祉サービス事業者に貸付		男女共同参画推進事業	382万2千円
特定不妊治療費助成事業	326万1千円	男女共同参画計画策定経費	

良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり

低炭素社会構築事業	135万円	公共下水道建設事業	8億2,311万2千円
二酸化炭素排出量測定業務委託		水道施設第5次拡張事業	7億6,570万円
ごみ減量・資源化推進啓発事業	252万3千円	天王山配水池整備工事など	
生ごみ処理機購入補助の拡大		新型インフルエンザ危機管理体制整備事業	309万7千円
ごみ収集事業	1億3,556万2千円	河川新設改良事業	1,800万円
10月から古紙・衣類等の行政回収の開始		庄堺川河川改良	
都市計画公園整備事業	8,514万5千円		

合計 313,001円



市議会の運営費に 2,594円



安全なまちづくりに 10,748円



活力ある産業振興に 12,139円



快適なまちづくりに 38,253円